

[はじめに](#)[1 まずはかゆみを知ろう！
目次へ戻る](#)[2 かゆみを採点しよう！
目次へ戻る](#)[3 かゆみをやっつけよう！
目次へ戻る](#)[このページを印刷する \(PDF:214KB\)](#)

③ かゆみをやっつけよう

(1) 強いかゆみがある時の外用療法(ステロイド外用薬やプロトピック軟膏を中心にしましょう)

13. 紫外線照射療法

通常の治療を行っても皮膚炎がよくならずかゆみが強い場合には、紫外線照射療法もしばしば行われます。紫外線には、免疫を抑制する作用や炎症を抑える作用があります。ソラレンという物質を含む薬を直接塗ったり温浴したりしてその後に紫外線Aを照射するPUVA療法、紫外線Bを照射するUVB療法、紫外線Bの中でも特殊なものを照射するnarrow band UVB療法などが主に行われています。とても有効ですが、治療の初期に入院を必要としたり、毎日照射しなければならなかつたりと、時間的な制約があります。また、過度の紫外線照射による皮膚障害が起きないように慎重な観察が必要です。

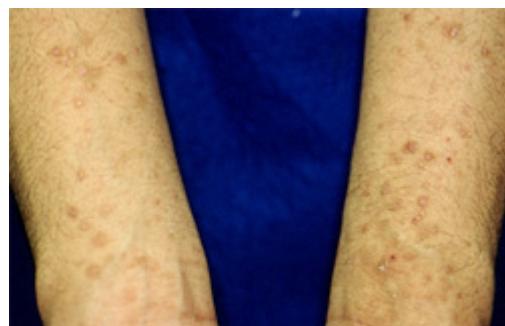
注意:プロトピック軟膏を使用中の患者さんは、紫外線照射療法はできません。



照射前



とてもかゆい



照射後

紫外線照射療法
後には平たんに
なり、かゆみもと
れる

